

地域支えあうまちづくり懇談会 アンケート結果

【2018.9.27（木）岩根まちづくりセンター】

問1 ご参加いただいたあなたの役職は。

| | |
|--------------|-----|
| ① 区・まちづくり協議会 | 11人 |
| ② 民生委員児童委員 | 2人 |
| ③ 健康推進員 | 1人 |
| ④ 各種団体役員 | — |
| ⑤ 市民 | — |
| ⑥ 市内事業所 | 1人 |
| ⑦ その他 | — |
| 計 | 15人 |

問2 懇談会に参加しての感想や今後、地域で支えあうまちづくりを推進していくうえで必要なことをお書きください。

- ・個々の各種団体（区長・民生委員・老人クラブ等）の組織内容は十分に理解しているつもりですが、グループ議題「安心安全カード福祉表の作成」については、熱心に本格的な定義について話し合いができた。
- ・各学区内の地域でのつながりをもっと具体的に推進していくことが大事であると思われる。その意味で各学区長は大事である。
- ・何回か懇談会が必要に思う。
- ・今回のテーマで話題になったのは、安心安全カードを作成する大切さであることは共有したが、個人情報をもどのような手段で得るかが懸案である。
- ・はっきりと目的・目標がいまだに見えてこない。
- ・行政が命令するくらいの気持ちがないと進まないのではないか。
- ・安心・安全な地域づくりのためには、個人情報の開示が必要。
- ・地域で支えあうまちづくりの推進に頑張ります。
- ・もっと懇談会に参加してもらったら、地域で支えることの見解が出ると思う。それには懇談会参加の依頼方法の検討が必要と思う。もっと良い意見が出ると思う。
- ・近年、日本国内各地で地震や台風による被害が多発している事より、安心安全カードの作成が急務であるが、個人情報がネックになって作成困難である。
本件について、人の命の大切さを最重要とし取り組む必要があり、個人情報を市行政が責任をもち、全市民の安心安全カードを作成してはどうかと思う。
 - ・民生委員の出席が少ない。連絡がいないようです。
 - ・地域でお手伝いできる元気な時、高齢になり地域でお世話になる時、その時の自分の

生活している中で変わってくるので難しい問題です。

- 災害時に役に立つように安心安全カードの作成、役員さん達と協力して命の大切さ、一人でも多くの方を助けていけるように取り組んでいきたいと思う。
- 地域の方々のご苦勞され頑張っておられることを見聞きし勉強になった。仕事として関わる自分達の覚悟も自覚し、何ができるのかを考え、地域の人々との人間関係の構築をして地域課題を考えていきたいと強く思いました。